

# 平成23年度事業計画書

(平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日)

平成23年3月16日(水)

財団法人DNP文化振興財団

## 平成23年度 事業計画書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日まで)

### 1. アーカイブ事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行う。【寄付行為 第5条(1)、(3)、(6)】

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化やその適正・有効な活用をはかるための調査、研究を行うと共に、作品、資料、調査研究の成果を公開する。調査研究の成果については、アニュアルレポート等の刊行物や、Web サイト等で公表する。

平成23年度は、アーカイブ作品の収集、データ整備と一般への公開、海外への寄贈などを主要テーマとする。

田中一光ポスターアーカイブ、福田繁雄ポスターアーカイブ、永井一正ポスターアーカイブの寄託品を海外の美術館等へ寄贈し活用促進する。グラフィックデザインを収蔵する意向の強い海外の美術館などに寄贈し、日本のグラフィックデザインのプレゼンスを高める。

所蔵するアーカイブをデジタルデータに変換・保存し、データベース化する作業は継続的に進める。

#### (1) 田中一光アーカイブ

平成20年秋に寄贈を受けた田中一光アーカイブは、ポスター作品に関するデータは、データベースに登録済み。平成23年度は、ポスター以外の寄贈品の整理とデータベース化を進める。

#### (2) ポスターアーカイブ

デザイナー100名、作品10,000点の収集を目標とする。現時点では、国内71作家のアーカイブを収蔵している。

平成23年度は、4名のデザイナーを目標として寄贈を依頼、CCGA に収蔵する。併せて、コレクションの体系化のための調査、研究を行うと共に、利用・公開のための調査を継続して実施し、ポスターコレクションの公開基準、手続き等を整備する。これにより Web サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請に対応する。

#### (3) 人物アーカイブ

グラフィック作家(20名)を主体とする作品、映像、文献、記事、原稿など複合的な資料を対象とするアーカイブ。

#### (4)タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成23年度も引き続き、CCGAに収蔵する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された1,000点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGAにて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

・事業費:18,700千円

## 2. 展示事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【寄付行為 第5条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の3展示施設で開催する。

平成23年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

第303回(10月)には、ggg25周年とgggBooksの100タイトル(作家)発行を記念する企画展を開催する。1月、2月には、昨年1月、2月に開催した田中一光展の第2弾を没後10年の記念展として開催する。こうした記念展、他の団体と連携する展覧会、海外作家をテーマとする展覧会などをバランスよく開催してゆく。

ddd、CCGAには、今年度1月にgggで開催した秀英体100展ほか、上記、記念展を巡回する予定。

CCGAでは、第58回企画展として、福島を拠点に活動する版画家とリスボンの版画家グループ「アグア・フォルテ」によるグループ展、「版で発信する作家たち2011:福島ポルトガル交流展」を開催予定。

ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 297 回 2011TDC 展	4/1(金)～4/25(月)
第 298 回 佐藤晃一展	5/9(月)～5/31(火)
第 299 回 レイモン・サヴィニャック展 (フランス)	6/6(月)～6/28(火)
第 300 回 2011ADC 展	7/4(月)～7/28(木)
第 301 回 GROOVISIONS展	8/4(木)～8/27(土)
第 302 回 工藤青石展	9/2(金)～9/28(水)
第 303 回 ggg25周年記念展	10/5(水)～10/29(土)
第 304 回 School of Visual Arts展 (アメリカ)	11/4(金)～11/26(土)
第 305 回 杉浦康平展	12/1(木)～12/24(土)
第 306 回 田中一光ポスター1980-2002 展	1/13(金)～2/25(土)
第 307 回 アレクサンドル・ロトチェンコ展 (ロシア)	3/2(金)～3/27(火)

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 179 回 秀英体 100 展 (巡回展)	3/22(火)～5/11(水)
第 180 回 2011 TDC 展 (巡回展)	5/20(金)～7/2(土)
第 181 回 服部一成展 (巡回展)	7/13(水)～9/2(金)
第 182 回 2011 ADC 展 (巡回展)	9/14(水)～10/27(木)
第 183 回 ggg25周年記念展(巡回展)	11/9(水)～12/21(水)
第 184 回 GRAPHIC WEST(4)	1/18(月)～3/6(水)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 56 回 幾何学的抽象の世界 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.23	3/1(火)～6/5(日)
第 57 回 秀英体 100 展 (巡回展)	6/11(土)～9/11(日)
第 58 回 版で発信する作家たち 2011 :福島ポルトガル交流展	9/17(土)～12/25(日)
冬期休館	12/26～2/29
所蔵品展「未定」	未定

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

・事業費:634,870 千円

### 3. 教育・普及事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【寄付行為 第5条(4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることがを目的に、講演会、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成23年度、gggBooks発行予定は4点、アニュアルレポートは、7月に発行予定とする。

10月の100タイトル目の発行を機にgggBooksなどの電子書籍化の検討に着手する。また、アニュアルレポートは、インターネット上でも閲覧可能とする。

今年度末にリニューアルするホームページの更新頻度を高め、新鮮な情報発信とインターネットを活用して展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、申込みなどをスムーズに行えるようにする。

ギャラリートークのネット配信システムは、引き続きグループ内の拠点への配信を継続するほか、ダイジェスト版をインターネット上で閲覧できるよう講演者の協力を得るよう努力する。

図書の刊行：平成23年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「gggBooks」を4点発行する。

(発行予定作家：サビニャック、グルーヴィジョン、工藤青石、杉浦康平)

アニュアルレポート発行：平成23年度は、「アニュアルレポート 10-11」を発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 11-12」の企画・編集を開始する。

ギャラリートーク：展覧会の出品作家自らが自作の解説や活動観を語るセミナー。

平成23年度は ggg(銀座)で12回、ddd(大阪)で5回開催を予定する。

また、セミナーのネット中継は、作家及び出演者の事前許諾のもと、DNPグループ内に通信回線を通じ実況中継することを継続する。また、Web上にギャラリートークのダイジェスト版の記録配信を行なう。

ギャラリーHP：更新頻度を高め、質・量に富むサイトとして継続展開する。新鮮な情報をできるだけリアルタイムで発信できるよう、システム面のリニューアルと運用面の改善を実施する。

また、ギャラリートークでの作家の新鮮な情報を発信できるような運営を目指す。

・事業費：84,640 千円

#### 4. 国際交流事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【寄付行為 第5条(5)】

平成23年度は、gggにて3回の海外作家および団体の展覧会を開催して、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。展覧会活動と連動し、海外作家らの講演会も合わせて行なう。

また、国内の他のグラフィック団体(国際グラフィック連盟(AGI)、東京アートディレクターズクラブ(ADC)など)と連携し、海外に日本のグラフィックデザインを紹介する。

第300回にあたるADC展をドイツ、フランクフルトへ巡回し、最新の日本のグラフィックデザインの動向を紹介する。ブルガリアから要望のある、日本のグラフィックポスター展の開催を目指す。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。

・事業費:5,000 千円

#### 5. 研究助成事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【寄付行為 第5条(7)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアートに関する研究者の活動を支援するため、「歴史」、「国際動向」、「教育」、「社会との関わり」、「技術動向」等、芸術文化の普及、振興に資する優れた研究テーマや刊行物等に助成する。

CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた助成・協賛を継続する。

・事業費:1,500 千円

#### 6. 収益事業

CCGA における喫茶の提供を継続する。また、他社および作家によって企画製造されたグッズ、出版物等を販売する事で、グラフィックアート、グラフィックデザインの普及を目指す。

・事業費: 60 千円

以上